

ジュネーブ, 2021 年 7 月 1 日

フランシス・フォード・ Coppola 氏のオリジナルアイデアによる 「発明」をフランソワ-ポール・ジュルヌが「製作」



2021 年、F.P.ジュルヌが初の自動巻きキャリバー-1300 を発表してから 20 周年迎えた事を記念して
この革命的なオクタ・キャリバーを搭載した全てのモデルを祝います。

今回発表された最新作はまさに究極の表現です。オクタムーブメントに組み込まれたゼンマイの力だけで作動するオートマタの
製作は、難易度の高い作業を必要としました。

時刻は 12 時位置のディスクを回転させることで読み取られ、モバイルフィンガーは瞬時に表示または非表示となり、位置に
応じて時間を示します。なお手のモチーフは、フランス王室公式外科医としてまた近代外科の発展に重要な功績を残したア
ンブロワーズ・パレ（1509-1590）によって作成された機械的な手から着想を得ています。



「この時計は、ナパバレーにあるフランシス・フォード・ Coppola 氏の家で夕食を共にした 2012 年に生まれました。「彼は、手を使って時間を伝えることができるか?と私に尋ねました。そのアイデアは非常に興味深く、暫く考える時間を下さいと答えました。しかし、5 本の指で 12 時間を表示するにはどうすればよいのか? それは簡単なことではなく、この複雑な挑戦は私に刺激を与え、製作意欲を掻き立てました。その後、私がこのアイデアを実現する目途がついた事を伝えと、フランシスはすぐに指の位置のスケッチを送ってきました。最初にこのアイデアを聞いてから 2 年以上が経ち、ようやく「製作」に集中できるようになりました。7 年間の開発期間を経て、FFC (フランシス・フォード・Coppola) プロトタイプを発表できることを誇りに思います。」

この特別なモデルはユニークなレアメタルであるタンタルケースにブルースティール針を備え、過去数年に渡りオンリーウォッチに出品された F.P. ジュルヌの時計と同じ仕様です。

モデル名/リファレンス

モデル名:	FFC ブルー
リファレンス:	FFC
ケース:	オンリーウォッチの為に特別製作されたタンタルケース
ダイヤル:	オートマタによってブルーの針で表示されるデジタルジャンピングアワー、オンリーウォッチ出品の為に開発されたユニークモデル。分は回転して表示される。
キャリバー:	18K ローズゴールド製ムーブメント FFC 1300.3 片方向巻き上げの自動巻き 22K5N ゴールド製ローターにアンブローズ・パレ (1509-1590) とフランシス・フォード・Coppola の名前を刻印
ブレスレット:	オレンジアリゲーターストラップ
ケースサイズ:	直径: 42 mm / 全高: 10.70 mm
部品点数:	ムーブメント: 396
複雑機構:	2
予想落札価格:	CHF 300,000 - 400,000

アンブロワーズ・パレ、フランスの天才 (1509/1510-1590 年)

ことわざにもあるように、大胆な者が幸運に恵まれる。貧しい床屋に生まれ、15 歳を前に生まれ故郷のラヴァルの街（パリから西に 300 k m）でこの仕事を始めた若いアンブロワーズ・パレが、国王の第一外科医となり医学の飛躍的な前進に貢献すると誰が想像できたでしょうか？

見習いとして

この時代に床屋であることは、体毛、皮膚、血に関する簡易な治療をすることでしたが、彼はそれだけでは満足しませんでした！若いアンブロワーズ・パレはそれ以上の野心を抱いていたのです。仕事に長け、聡明で創造性にあふれていた彼は、外科医になることで自身の運命を築き上げるため、社会的な束縛を打ち破ることにしました。

そして、彼は王国の医療の中核であったオテル・デュー病院のあるパリに旅立ちました。彼はその地で解剖学を学び、死体で練習を重ね、薬の調合を修得し、Barbiers chirurgiens（床屋外科医）の助手を務めました。その 3 年間（1533-1536 年）、彼は死に物狂いで働き、多くを学び、彼の才能により同僚から一目置かれる存在となります。

しかし、聖域の守護者には必須と考えられていたギリシャ語もラテン語も修得していなかったため、本質的に経験に基づく分野でありながら理論の観点から床屋外科の資格の授与が拒否されました。

外科医として

第一に実践的であったアンブロワーズ・パレは、1536 年無資格の床屋外科医としてフランス国軍に従事します。そこで彼は、現場で人を助けることがすべての進歩に繋がることをすぐに理解しました。その当時、ヨーロッパでは 2 大最強国であるフランス王国（フランソワ 1 世統治下）とスペイン王国（シャルル 5 世統治下）の間に、戦争が長引いていました。

この戦いの中で、パレは従来伝授されていた医学は戦争の武器の進歩により起きる新たな（種類の）傷を直すことができないことを理解します。銃身を肩にかけて運べる小銃の砲弾は、粉碎し火傷を負わせていました。古典的な方法（ヒポクラテスとガリエヌス）は、小銃を前にしては時代遅れなものとなっていました。

そこで、新しい種類の損傷の傷口を熱した鉄と煮えたぎる油で処置をすることやめることを彼は唱えました。砲弾を摘出後、敗血症を防ぐため、新しい緩和軟膏や芳香薬により傷口の炎症を鎮めるべきであることを理解したのです。1542 年、彼は弾丸を取り除くための新しい道具を発明しました。彼の創造的な才能は、戦場にて注目を浴びることになります。

特に彼の名声が高まるのは 1545 年で、最初のフランス語での著書《小銃による傷の治療方法》を出版し、慣習に反してラテン語を拒否し、古典医学を刷新し覆しました。この医師団への抵抗とも取れる行動は、これだけではありませんでした。同年、フランソワ 1 世が亡くなり、その後継の息子ヘンリ 2 世がスペイン王国との戦争を引き継ぎました。

1552 年の従軍時、外科医学の傑作であり彼の最も高名な医学の地位を築く、切断手術後の動脈と静脈の結紮を考えました。頻発していた焼灼と敗血症を終わらせ、アンブロワーズ・パレは《近代外科の父》と認められます！

ヘンリ 2 世と王国の有力者の庇護により、彼は国王に従う医師団を前に、王室認定外科医の一人としての医学的な栄誉を手に入れます。

宮廷人として

宮廷で近代外科を普及させるためパレは巧妙な策略家でしたが、1559 年 7 月 10 日スペイン王国との平和を祝う騎馬槍試合で、ガブリエル・ド・モンゴメリの槍をヘンリ 2 世が頭に受けた際、彼には成す術がありませんでした。フランソワ 2 世王子が後を継いだ後も、地位を保持していたパレの外科医としての才能をもってしても、1560 年不運にもこの若い王子は 16 歳の若さで亡くなってしまいました。

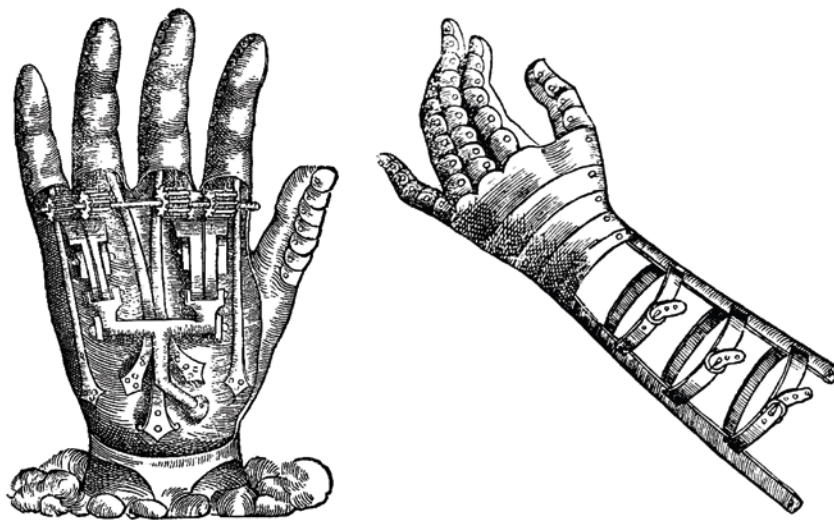
これらの悲劇に直面し、パレは 2 人の王の死亡原因を突き止めたいと思いました。彼らの解剖を行うことで革新し、法医学の父となります。この新たな実践により、王国摂政であったカトリヌ・ド・メディチ皇太后は感銘を受け、1561 年よりシャルル 4 世国王（ヘンリ 2 世の 3 男）の第一外科医に任命します。

アンブロワーズ・パレは混乱した時代を生き抜きました。フランス王国とスペイン王国の戦いは 1559 年まで 16 世紀前半を通して続き、1560 年以降はフランスのカトリックとプロテスタント間の宗教戦争がそれに続きました。この新たな状況下で、摂政カトリヌ・ド・メディチは、1564 年 1 月から 1566 年 5 月まで移動形式宮廷を提案しました。フランスの街々を行脚しながらシャルル 4 世国王を紹介し/見せ緊張を和らげることを目指していました。王室第一外科医のパレは、高位者、高官の随行団に同伴していました。ですが、彼は傲慢になる代わりに、この長い旅を利用し、床屋外科医、接骨師、薬剤師と意見交換し多くを学びました。

作家として

1572 年 8 月 24 日、パレの暮らすパリ中心部でのサン・バルテルミーの大虐殺により、政治・宗教的な状況は深刻になり、1574 年シャルル 4 世の死亡により混乱はさらに深まりました。その後を継いだヘンリ 3 世（ヘンリ 2 世の 4 男）へも第一外科医として仕え、そして、パレは国王の部屋係と相談役という新たな特権のある地位を授けられました。

60 歳を過ぎていたパレは、パリを離れず、自身の資金と影響力を使って多様な医学知識を集結することを決心しました。そこで、新たな概論を記し、従来の自身の著作を更新し完成させました。彼の著書の初版は 1575 年、皆が読めるようにフランス語で出版されました。それに憤慨した医師団は、彼の邪魔をしようと試みますが、ヘンリ 3 世の支持により、彼はそれらの下劣な言動から保護されました。彼の著書は、多数の増版や再版が行われました（第 2 版 1579 年、第 3 版 1582 年、第 4 版 1585 年、死後第 5 版 1598 年）。これらの著書は、挿絵入りの大きな 1228 ページと 29 巻から構成され、16 世紀の医学の英知を結集しています。



アンブロワーズ・パレの人工の手のイラスト

発明者として

パレのキャリアを通して、彼は患者の快適さを重要視し、義肢に関しては前衛的でした。審美面での創造物もあります。例えば、眼窩の中にはめることのできる人工眼球や、顔を再形成する糸で固定された金属性の鼻、溶解した膠などで処理した革を軟骨に結合する耳などです。

彼は、巧妙で技術的な見事な人工肢も発明します。手と足の義肢は、極めて機械的に複雑なためこの伝記には書ききれないほどです。

時計製造に関するオブジェである義手について言及すると、この機械的な手のシステムによりボタンを押すことで指が開き、手を閉じるときは 2 つのバネで指を戻します。

パレが考案した義肢は、16 世紀から第一次世界大戦（1914-1918 年）まで、基準であり、彼の発明と功績によりパレは近代外科の父であり続けます。

シャルル・ジュルヌ
2021 年 9 月 パリ